

5 / 1 (月) の発表

報道発表資料の配付日時 5月1日(月) 15時00分

発表項目 (行事名)	野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況(疑い事例 石狩振興局・札幌市)について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 北海道大学が、調査研究の一環として4月17日から19日にかけて札幌市中央区北海道大学構内で回収した死亡野鳥(ハシブトガラス)3羽について、4月29日に同大学で遺伝子検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された旨、連絡がありました。 今後、同大学が、高病原性の検査を実施します。</p> <p>○ 本件は、3月13日以降に回収し、高病原性が確認された6事例の死亡野鳥(ハシブトガラス)及び1事例の死亡個体(キツネ)と同一地域内において継続して発生したものであり、国や道の対応マニュアルに基づき、回収された地区名を公表するものです。</p> <p>○ 本地域における発生は、環境省「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」や北海道「北海道における野鳥の高病原性鳥インフルエンザに係る対応マニュアル」が定める同一地域内の継続案件として、引き続き、簡易検査で陽性が確認された場合は、道庁野生動物対策課ホームページで公表し、遺伝子検査で高病原性が確認された場合は報道発表します。</p> <p>【野生動物対策課野鳥の高病原性鳥インフルエンザ情報ページ】 https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/birdflu.html (今後の道の対応)</p> <p>(1) 石狩振興局は、野鳥監視重点区域において監視を強化します。なお、現時点で道内において、野鳥の大量死等の異状を認める報告はありません。</p> <p>(2) 回収地点から半径3kmの区域内にある家きん飼養農場については、飼養家きんに異状がない旨を確認済みです。また、現時点で道内の家きん飼養農場において、異状を認める報告はありません。</p> <p>(3) 北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会構成員には情報共有をもって発生予防対策の徹底を図ります。</p> <p>※別添資料 令和4年シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況</p>		
参考	<p>○ 現時点では、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認された段階であり、病原性は未確定です(高病原性鳥インフルエンザウイルスが確認されたわけではありません)。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザは、感染した鳥と密接に接触するなどの特殊な場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。日常生活においては、過度に心配する必要はありません。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 死亡していたり、衰弱している鳥などの野生動物を見つけても、素手で触らない、触った場合は手洗いするなど、死んだ鳥などの野生動物との接し方について注意喚起をお願いします。</p> <p>○ 高病原性鳥インフルエンザ発生防止のため、引き続き、家きん飼養農場における飼養衛生管理の自己点検や消毒の徹底について、積極的な報道による注意喚起をお願いします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	道政記者クラブ	
担当(連絡先)	<p>・環境生活部自然環境局野生動物対策課野生鳥獣係(担当者:鈴木) TEL:011-231-4111(内線24-381)ダイヤルイン:011-204-5223</p> <p>・農政部生産振興局畜産振興課家畜衛生係(担当者:中田) TEL:011-231-4111(内線27-791)ダイヤルイン:011-204-5441</p>		

令和5年（2023年）5月1日 15 時現在
 令和4年（2022年）シーズンの野鳥の高病原性鳥インフルエンザ発生状況

< 令和4年（2022年）10月～令和5年（2023年）9月 >

本件	野鳥 ○例目	回収日 採取日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	羽数			
	1例目	10/8	根室	別海町	糞便	ガンカモ類				高病原性
	2例目	10/23	オホーツク	紋別市	糞便	ガンカモ類				高病原性
	3例目	10/28	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1			高病原性
	4例目	11/6	オホーツク	斜里町	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	5例目	11/10	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	6例目	11/16	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オオセグロカモメ	1	陽性	陽性	高病原性
	7例目	11/16	オホーツク	斜里町	衰弱野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	8例目	11/18	十勝	帯広市	死亡野鳥	マガモ	1	陽性	陽性	高病原性
	10例目	11/19	根室	中標津町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陽性	陽性	高病原性
	9例目	11/20	釧路	釧路市	衰弱野鳥	タンチョウ	1		陽性	高病原性
	11例目	11/21	渡島	八雲町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	12例目	11/23	十勝	浦幌町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	13例目	11/24	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	14例目	11/26	オホーツク	斜里町ウトロ西地区	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	15例目	11/28	渡島	七飯町	死亡野鳥	オオハクチョウ	1	陰性	陽性	高病原性
	16例目	12/2	胆振	厚真町	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陰性	陽性	高病原性
	18例目	12/3	渡島	函館市	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陰性	陽性	高病原性
	17例目	12/5	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	20例目	12/9	オホーツク	網走市	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	21例目	12/10	宗谷	浜頓別町	死亡野鳥	オオワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	19例目	12/12	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	22例目	12/12	釧路	標茶町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	23例目	12/21	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	24例目	12/28	石狩	千歳市	衰弱野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	25例目	1/9	後志	積丹町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	26例目	1/13	渡島	函館市	死亡野鳥	ハヤブサ	1	陽性	陽性	高病原性
	27例目	2/4	石狩	札幌市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	28例目	3/1	根室	根室市	衰弱野鳥	オジロワシ	1	陰性	陽性	高病原性
	30例目	3/10	釧路	釧路市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陰性	陽性	高病原性
	29例目	3/13	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	31例目	3/16	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	32例目	3/22	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	33例目	3/26	空知	赤平市	死亡野鳥	ハシブトガラス	1	陽性	陽性	高病原性
	34例目	3/30	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	35例目	3/29	日高	えりも町	死亡野鳥	オジロワシ	1	陽性	陽性	高病原性
	36例目	3/30	胆振	むかわ町	死亡野鳥	ハシブトガラス	2	陽性	陽性	高病原性
	37例目	4/4	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
	38例目	4/11	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	1		陽性	高病原性
●	疑い	4/17～19	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡野鳥	ハシブトガラス	3		陽性	今後、検査

【参考：哺乳類】

本件	哺乳類 ○例目	回収日	場所		検体情報			簡易 検査	遺伝子 検査	病原性
			振興局	市町村	検体の種類	種名	頭数			
	1例目	4/12	石狩	札幌市中央区北海道大学構内	死亡個体	キツネ	1	陽性	陽性	高病原性